

JAILA 第7回全国大会プログラム

8:30-	受付 (501教室)		
9:20-9:30	開会式 (501教室)		
教室	402教室	403教室	507教室
Session 1 司会	坂本 南美 (岡山理科大学)	土屋 結城 (実践女子大学)	志子田 祥子 (東京大学)
9:30-10:00	「ディベートの文体：米大統領選テレビ討論会の分析を題材に」 金谷和香・寺西雅之 (兵庫県立大学)	「図書館での「ぬいぐるみお泊まり会」活動から考える不可知論—科学的思考と想像力の境界線」 杉本 裕代 (東京都市大学)	「演劇ワークショップが大学生のコミュニケーションに対する態度に与える影響—定性データに基づいた分析—」 岩中 貴裕 (山口学芸大学)
10:00-10:30	「ラオスにおける法整備に向けた法学教育の現状と課題—首都と地方の比較研究—」 乾美紀・橋本英司 (兵庫県立大学)	「読後ディスカッションで何が語られているのか：書記記録分析の試み」 草薙優加・深谷素子 (鶴見大学)・小林めぐみ (成蹊大学)	“The Effects of Pushed Output Activity in Written Recall Task” マーティン 宏美 (文教大学)
10:30-10:40	休憩		
Session 2 司会	乾 美紀 (兵庫県立大学)	大西 好宣 (千葉大学)	久世 恭子 (上野学園大学)
10:40-11:10	「大学入試センター試験が映し出す英語—電子コーパスとして読む英語問題」 北和丈 (東京理科大学)・櫻村真由 (東京工業高等専門学校)・伊澤高志 (立正大学)・佐藤蘭香 (麗澤大学)・瀧口美佳 (立正大学)・土屋結城 (実践女子大学)	「地域貢献活動のための自己評価を促すコモン・ルーブリックに関する実践的研究 (1)—学修プロセス構造の可視化を目指して—」 佐藤大介・鈴木舜 (くらしき作陽大学)・高橋香代 (岡山大学)	「新学習指導要領における英語音声指導内容の検討—“intelligibility”の概念整理をとおして—」 和田 あずさ (兵庫教育大学)
11:10-11:40	「英検二次面接試験「準2級」の絵の描写で用いられる動詞の特徴」 竹野純一郎・松浦加寿子 (中国学園大学)	「日本の伝統芸能「落語」が海外での日本語教育におよぼす効果」 阪田昌樹・松田真奈美 (兵庫県立明石西高校)・大内幹雄 (兵庫県立大学)	「英語スピーキングの流暢さを促す指導の工夫」 麻生 雄治 (長崎県立大学)
11:40-12:30	ポスター発表(506教室)		
12:30-13:20	昼食		
教室	402教室	403教室	404教室
Session 3 司会	内山 八郎 (同志社大学)	マーティン 宏美 (文教大学)	那須 雅子 (岡山大学)
13:20-13:50	「新聞報道とグローバル人材」 大西 好宣 (千葉大学)	“Reinvigorating the Liberal Arts as Transformative Praxis in the Japanese University” David Kennedy (日本大学)	ワークショップ 「大人にもアニメーション！—スペイン式読解力育成のすすめ」 講師：河西 由美子 (鶴見大学)
13:50-14:20	「英国の地方都市における移民問題」 庄司 俊恵 (大阪経済法科大学)	“Censoring National Shame: A Comparative Lesson on Japanese Postwar Denial of the Wartime Effort to Eradicate Korean Culture with American Unwillingness to Confront the Aerial Bombing of Civilian Populations in Japan, Korea and Southeast Asia” Charles Cabell (東洋大学)	
14:20-14:50	「関西福祉大学における文章力向上の取り組みについて」 溝端剛・上野輝夫・半田結・有田伸弘 (関西福祉大学)	“On Teaching Multiliteracies and Multiperspectivism” Joff P.N. Bradley (帝京大学)	
14:50-15:00	休憩		
教室	402教室	403教室	507教室
Session 4 司会	伊澤高志 (立正大学)	瀧口 美佳 (立正大学)	佐藤 蘭香 (麗澤大学)
15:00-15:30	「擲銭法による易占での使用硬貨に関するノート」 大橋 一隆 (松土社企画)	「日本の公立中学校に勤めるALTの同僚性に関するナラティブ研究」 坂本 南美 (岡山理科大学)	「地域貢献活動のための自己評価を促すコモン・ルーブリックに関する実践的研究 (2)—学生の自己評価分析から見える成果と課題—」 鈴木舜・佐藤大介 (くらしき作陽大学)・高橋香代 (岡山大学)
15:40-17:30 (501教室)	シンポジウム：文学は医療に貢献できるか～物語・文体・認知の視点から～ 講師：小比賀 美香子 (岡山大学医学部総合内科学講座)・奥 聡一郎 (関東学院大学)・奥田 恭士 (兵庫県立大学)・寺西 雅之 (兵庫県立大学)		
17:30-17:50	閉会式・総会 (501教室)		
18:30-20:30	懇親会 (キリンビール横浜工場レストラン ビアポート) 会費：6000円 (学生3000円)		